



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test



大学入学者選抜における総合的な英語力評価を推進するためのワーキンググループ

TOEFL® テスト概要

～英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決状況について～

ETS Japan

2022.9.2

TOEFL®テスト 概要

- 1964年に開始された世界で最も実績のあるアカデミック英語測定試験
- 公式テスト: TOEFL iBT®テスト、CBTで実施、テストセンター受験と自宅受験で運用
- 団体向けテスト: TOEFL ITP®テスト、紙版もしくはCBT版、実施機関での受験または自宅受験の双方で受験可能
- アカデミックなテストコンテンツで構成
 - TOEFL iBT®テスト: 4技能を同時に一度で測定、複合技能型の問題含む
 - TOEFL ITP®テスト: 2技能3セクションを測定。2022年よりスピーキングセクション導入
- スピーキング、ライティングの採点にはAIによる自動採点を採用
(iBT®テストは人の採点とAIを併用 ITP®テストはAIのみ使用)
- スコアによる評価
 - TOEFL iBT®テスト: 0~120点、各技能0~30x4セクション
 - TOEFL ITP®テスト: 310~677点、各セクション31~68/67 (Level 1)
- Score Descriptorsによる各技能とスコアのCan-Do表記
- CEFRとの相関
 - TOEFL iBT®テスト: B1~C2 TOEFL ITP®テスト: A2~C1



TOEFL®テスト 日本での利用概況

TOEFL iBT®テスト

- 2006年開始以来100万人以上が受験
- 337大学が入試においてTOEFL iBT®テストのスコアを活用 * 1
- 232大学がTOEFL iBT®テストのスコアを単位認定に活用 * 1
- 各都道府県の英語教員採用、人事院、省庁の留学、企業の英語力要件等でも使用
- 2022年のテスト実施日は年間51日 日本でのテストセンター78カ所 * 2
- 受験料: 245ドル(テスト日の7日前までの申し込み) * 3
- TOEFL iBT®テストスコア利用実態調査を日本国内の大学・教育委員会向けに実施中

*1 TOEFL iBT®テストスコア利用実態調査2018年版

*2 2022年予定

*3 2022年8月現在

TOEFL ITP®テスト

- 1987年の開始以来400万人以上が受験
- 英語力測定、大学・院入試、留学生選抜、系列大学進学への指標等で使用
- TOEFL iBT®テストに向けた準備利用
- 年間300以上の大学等教育機関、行政、企業が利用
- 受験料: 4,000円弱(2技能版・CBT/紙とも同料金 人数等により変動)
- スピーキング測定が正確で手早くできる



地理的・経済的配慮

地理的な配慮

- 自宅受験版(TOEFL iBT®テスト)もしくはCBT版(TOEFL ITP®テスト)で対応が可能
- TOEFL ITP®テストでは高校等に会場提供を依頼することが可能

経済的配慮

- TOEFL iBT®テスト:一定額の減額は可能、しかし大幅な減額については困難
- TOEFL ITP®テスト:比較的低廉な受験費用で提供が可能

障がいのある受験者への合理的配慮

- TOEFL iBT®テスト:個別の状況を考慮した上で規定に沿った申し込みをいただく
- TOEFL ITP®テスト:状況に応じて実施主体と連携して対応

問題集の出版

- TOEFL iBT®テスト、TOEFL ITP®テストとも過去問題を使用



TOEFL®テスト 現在から将来へ向けた取り組み-2



JAPAN
A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

英語資格・検定試験を高校生が利用しやすくするための課題解決 ～行政機関との連携事例紹介～2022年度福岡県「Stanford e-Fukuoka」での取り組み

関係団体	福岡県教育庁/在福岡米国領事館/ETS Japan/ETS公認トレーナー五十峯聖先生
制度概要	スタンフォード大学が日本の高校生向けに開発した異文化理解教育プログラムを福岡県の要望をいれてカスタマイズ。「国際金融センターを目指す福岡に必要な条件」、「私取り組みSDGs」、「シリコンバレーと起業家精神」など様々なテーマについて、世界トップクラスのスタンフォード大学のスタッフやゲストスピーカーによるディスカッションを中心とした講義で構成され、選抜された高校生30名が2022年3月～8月に、オンラインで受講。
ETS Japan による講座	受講にあたっての必要な英語力を育成するため、ETS Japanが行うTOEFLテストと練習問題を使用した「TOEFL特別講座(全6回+プレテスト・ポストテスト)を並行して受講。 ①デジタル版TOEFL ITPテストを自宅で受験 ②全6回の講座でアカデミックな題材に関して「読む」「聞く」「話す」「書く」の4技能を学習 ③学習の成果としてTOEFL iBTテストの実際の過去問題であるTOEFL Practice Onlineを受験し、成果の測定実施
成果	スタンフォード大の関係者・外部講師とディスカッションや議論を行ってみずから発信するためには、アカデミックな視点での英語4技能の向上が不可欠。 同時にTOEFL iBTテストを準備なしに受験することは、日本人高校生にとってハードルが高い。 まずは団体向けTOEFL ITPテストを自宅で受験し、本プログラム参加に必要なレベルと自分の英語力の差を把握して、講座受講によりその差を埋め、スタンフォード大のプログラムをとっても有意義なレベルで行うことができた。

オンラインの受験者サポートの充実

動画・音声による「My TOEFL iBT® Story」の掲載

- TOEFL iBT®テスト受験経験者の生の声・生の映像を含めた動画を寄稿してもらい、弊社が運用する「TOEFL® Webマガジン」に掲載、広く周知する
- 特に、これからTOEFL®テストを受けようとする高校生に対して、経験者の声を参考としてもらうために、受験者と同年代の身近な存在となる経験者の声を集め、効率的かつ効果のある勉強法について語ってもらうことで、受験に対するハードルを下げる

TOEFL iBT®テスト受験体験者の傾向

- 英語学校などに通うことはせず、自力で勉強する生徒が多い印象
- 高校で習った内容や高校の先生をうまく活用している(特に発信技能)
- スピーキングは慣れるまで時間を区切って録音してみる
- 1人の勉強の際はモチベーション維持がとても大事
- 友人の励ましなどが有意義に働く



TOEFL®テスト資料

- TOEFL®テストの種類と運用
- TOEFL iBT®テスト及びTOEFL iBT® Home Edition
- TOEFL ITP®テスト
- TOEFL® Essentials™ テスト
- ETS Japanについて

TOEFL®テストの種類と運営

主な対象

小・中学生

中学生・高校生

(高校生)・大学生

(高校生) 大学生・社会人

CEFR

A1-B1

A2-B2

A2-C1

A1-C2

B1-C2



TOEFL Primary®

8歳以上



TOEFL Junior®

11歳以上



TOEFL ITP®

16歳以上



TOEFL®
Essentials™

年齢制限なし



TOEFL iBT®

年齢制限なし



公文研究会
GC&T事業推進部
<https://gc-t.jp/>

ETS Japan / TOEFLテスト日本事務局

テスト一般情報、TOEFL ITP運営、公式教材販売 等
プロメトリック株式会社
会場受験、ETSアカウント情報 等



TOEFL iBT®テスト

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl_ibt/



TOEFL iBT[®]テスト構成

セクション	問題数	時間	スコア
Reading	3または4パッセージ (各10問)	54~72分	0-30
Listening	会話：2題 会話：3題 講義：3題 講義：4題	41~57分	0-30
休憩10分			
Speaking	1 Independent Task 3 Integrated Tasks	17分	0-30
Writing	1 Integrated Task 1 Independent Task	50分	0-30
	*テストセンターでは マイク付ヘッドセット をつけて受験	TOTAL 約3時間	0-120





TOEFL iBT[®] Home Edition

自宅受験版TOEFL iBT[®]テスト

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/at-home.html



自宅受験版 TOEFL iBT[®] テストについて



会場受験と同じ点

テスト内容、採点方式、スコアレポート、受験料、受験料の支払方法等は従来の会場受験と同じ



会場受験と異なる点

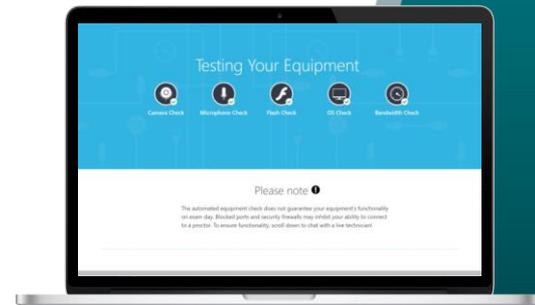
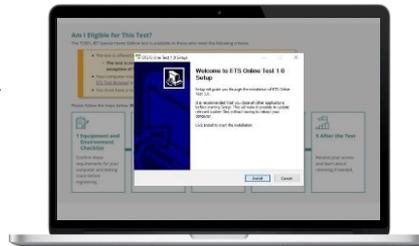
- ・ 週4日、24時間体制で実施中（21年8月現在）
- ・ 自分自身で所定の機材を用意（PC, マイク, スピーカー, カメラ等）
- ・ テストブラウザDL・システムチェック
- ・ オンライン試験監督者あり



受験における留意点

- ・ 一人きりの静かな部屋で受験
- ・ ベッド、ソファ、ラウンジチェア、マスクは使用不可
- ・ 規定に沿ったノートテイキング資材が必要

例：A3~A4サイズのホワイトボード、消せるマーカー、イレーザー等



受験当日の準備

✓	チェック項目
	身分証明書の用意
	インターフォンの音を切っておく
	ペットや同居者が絶対にカメラに映らないようにする

チェックイン（15分程度）

試験監督者からの遠隔操作 & 音声指示

- ・ 背景に部屋のドアが映るように、スクリーンと椅子を移動
- ・ 机の四角、部屋全体、腕、耳の中 を見せる
- ・ スマホをカメラが見える位置（背面側）に置く ※部屋にない場合は、そのように伝える
- ・ ノートテイキングアイテム を見せる ※用意していない場合は、そのように伝える
- ・ 常に顎が見える状態にする

テスト中、録音・画面録画等をして不正行為の対象になると「Scores on Hold」となり、スコアが発行されない可能性があります。

ETS
TOEFL





TOEFL ITP[®]テスト

TOEFL ITP[®]テストは2つのレベル
(Level 1, Level 2)

CBT版の運用についてはお問い合わせ
ください

<https://www.toefl-ibt.jp/toefl-ity/>



TOEFL ITP[®]テスト構成

Level 1（中級から上級まで、CEFR：A2～C1） 約2時間

TOEFL ITPテストは2つのレベルを選択できます。

(TOEFL ITP[®]テストLevel 1は、TOEFL[®] PBTテストと問題数、スコア範囲は同じです)

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	50	約35分	31 - 68
Structure and Written Expression	40	25分	31 - 68
Reading Comprehension	50	55分	31 - 67
TOTAL	140	約115分	310 - 677

Level 2（初級から中級まで、CEFR：A2～B1） 約1時間10分

セクション	問題数	解答時間	スコアの範囲
Listening Comprehension	30	約22分	20 - 50
Structure and Written Expression	25	17分	20 - 50
Reading and Vocabulary	40	31分	20 - 50
TOTAL	95	約70分	200 - 500

※TOEFL ITP[®] Supervisor's Manualより引用

TOEFL ITP®テストデジタル版

TOEFL ITP®テスト デジタル版は、TOEFL ITP®テストの作成元であるETSが、従来のペーパー版に加え、コンピュータ上で出題・解答していくテスト形式として新たに導入したテストです。

2020年4月より、団体向けテストプログラムの一つとして提供を開始しました。問題数(時間*)、スコアスケール、テスト料金は、従来のペーパー版のTOEFL ITP®テストと同じです。

ペーパー版とは異なる4つのメリット



テスト終了後、
その場でスコアがわかる



少人数から対応可能



問題冊子、解答用紙の
発送・返却が不要



TOEFL iBT®テスト受験準備に
最適

テスト終了後にその場で結果(スコア)を確認でき、監督者はスコアデータ一覧の保存も可能です
監督者がUnofficial Score Reportを発行することも可能です
スコア一覧データは受験者また各セクションのスコア、あわせてCEFRレベルもセクションごとに
表示されます

* セクションごとの所要時間は最大時間のため、受験者により早く終わることがあります



TOEFL ITP®テストデジタル版＋Speakingオプション

- Speakingセクションは、TOEFL ITP®テストデジタル版の追加オプションとして実施が可能
- 問題構成: 計4問、簡易な統合技能型の問題
 - 1問目: 読み上げ、1分考える・練習→1分で読み上げ
 - 2～3問目: 出された問題について30秒で考え45秒で答える
 - 4問目: 会話を聴く→指示に基づいて答える
- 特長
 - ETSが開発した自動採点システム「Speech Rater®」による精確な採点
 - TOEFL iBT®テストでも採用されている信頼性の高い採点で、世界基準でスピーキング能力を証明することが可能
 - 受験人数を問わず短時間で測定、幅広いレベルに対応
 - 所要時間は約20分間、CEFR A2からC1まで対応
 - TOEFL iBT®テスト受験に向けたステップアップ



TOEFL® Essentials™ テスト

2021年8月21日より運用開始された
自宅受験型新テスト

https://www.toefl-ibt.jp/test_takers/toefl-essentials.html



 **TOEFL. Essentials™**

TOEFL® Essentials™ テスト構成

セクション	問題数	時間	スコア	内容
Listening	30～45問	21～34分	1-12	様々な状況における会話・質問*
Reading	30～45問	22～33分	1-12	アカデミック、日常に関する短めの問題
Writing	15～19問＋タスク2つ	24～30分	1-12	アカデミック、日常の問題に関する文章作成
Speaking	19問(タスク3つ)	13分	1-12	読み上げ、バーチャルインタビューへの返答など
Personal Video Statement	2題	5分	非採点	質問について自分の意見を答える
		TOTAL 約90分	1-12 (0.5単位)	

* リスニングの出題音声は、カナダ、アメリカ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドのアクセント

+ 文法力と・語彙力のパーセンタイル表記あり

TOEFL® Essentials™ と TOEFL iBT® テストの比較

項目	TOEFL® Essentials™ テスト	TOEFL iBT® テスト
内容	アカデミック英語 + 一般英語 (それぞれ5割程度)	アカデミック英語
テストアイテムの表示	受験者のレベルによって出題内容が調整される 「アダプティブ方式」(Speaking除く3セクション)	一貫性のある設問のセット
タスクの特徴	短い即答式タスク	長く、深く考えるタスク
受験対象者	大学進学希望者を含む、幅広い層に受験可能	具体的な目標を持って、大学・大学院で 英語で学ぶことを目的とする方
試験時間	90分程度	3時間
受験費用	US \$110	US \$245
CEFR	A1~C2	B1~C2

TOEFL® Essentials™ スコアを採用している大学

- アメリカを中心に、学部入試でスコアを採用している大学が増加中
 - Total 444校 (8月24日時点)
 - アメリカ 315校、カナダ 5校、イギリス 5校

採用しているアメリカの大学 〈例〉

Carnegie Mellon University	Stanford University
Cornell University	Temple University
Georgetown University	University of Hawaii at Manoa
Massachusetts Institute of Technology	Vanderbilt University
Purdue University - Fort Wayne	Wellesley College

Choose the best response.



- We're open till 8 P.M.
- Sorry, I don't work here.
- The lab session just ended.
- Please don't text while you're driving.

TOEFL Essentials™ サンプル問題一例

<https://www.ets.org/s/toefl-essentials/test-takers/prepare/>



What will happen tonight?

- There will be a party.
- The man will work late.
- There will be a special offer at a store
- The woman will attend a class.

Show Answer



What are students asked to do before leaving the theater?

- Attend a reception
- Pick up a flyer about a drama club
- Confirm their attendance at a session
- Buy tickets for a future event at the theater

Show Answer

Read about chocolate. Then select True, False, or Not Stated.



Who Had It?	How Did People Have It?	Uses
<ul style="list-style-type: none">- The king: in the 1500s, the Aztecs in South America gave it to their king.- Working-class Aztec people: only on special events, like a wedding.	<ul style="list-style-type: none">- As a cold drink- It was not sweet.	<ul style="list-style-type: none">- As medicine- To provide energy

In the past people had chocolate as a drink.

- True
- False
- Not stated



I cannot stand studying with Dustin anymore.



Aren't _____ _____ _____ _____ ?

with

each other

you

good friends

Instructions

Your professor is teaching a class on economics. Write a post responding to the professor's question. In your response you should:

- express and support your personal opinion
- make a contribution to the discussion

An effective response will contain at least 100 words.



Professor Henson

When people are asked about the most important discoveries or inventions made in the last two hundred years, they usually mention something very obvious, like the computer or the cell phone. But there are thousands of other discoveries or inventions that have had a huge impact on how we live today. What scientific discovery or technological invention from the last 200 years—other than computers and cell phones—would you choose as being important? Why?



Paul N

I mean, we're so used to science and technology that we are not even aware of all the things we use in our daily lives. I would probably choose space satellites. This technology happened in the last hundred years, and it has become important for so many things. Just think about navigation, or telecommunications, or even the military.



Lena A

I am thinking about medical progress. Like, for example, when scientists discovered things about healthy nutrition. I am thinking of identifying all the vitamins we need to stay healthy. I am not sure exactly when the vitamin discoveries happened, but I know they are very important. Our health is much better than it was 200 years ago.

cut	paste	undo	Word Count: 0	hide	9:51

You are interested in going abroad to study. A representative of a study abroad program will ask you some questions.

Play Audio



ETS Japanについて



JAPAN

A subsidiary of ETS, the creator of the TOEFL® test

<https://www.etsjapan.jp/>

- 2021年6月15日に業務を開始
- 1981年よりTOEFL®テスト日本事務局として運営を行ってきた一般社団法人CIEE国際教育交換協議会より、TOEFL®テストに関する事業を引き継ぐ
- ETS Japanの業務
 - TOEFL®テストに関する広報・周知
 - 団体向けTOEFL®テストであるTOEFL ITP®テストの提供
 - TOEFL®テスト公式教材の販売
 - オンラインのライティング指導ツールCriterion®の提供
 - GRE®テストに関する広報・周知



お問い合わせ テストの利用等に関するご質問
ETS Japan 広報担当
Mail to : koho@etsjapan.jp

